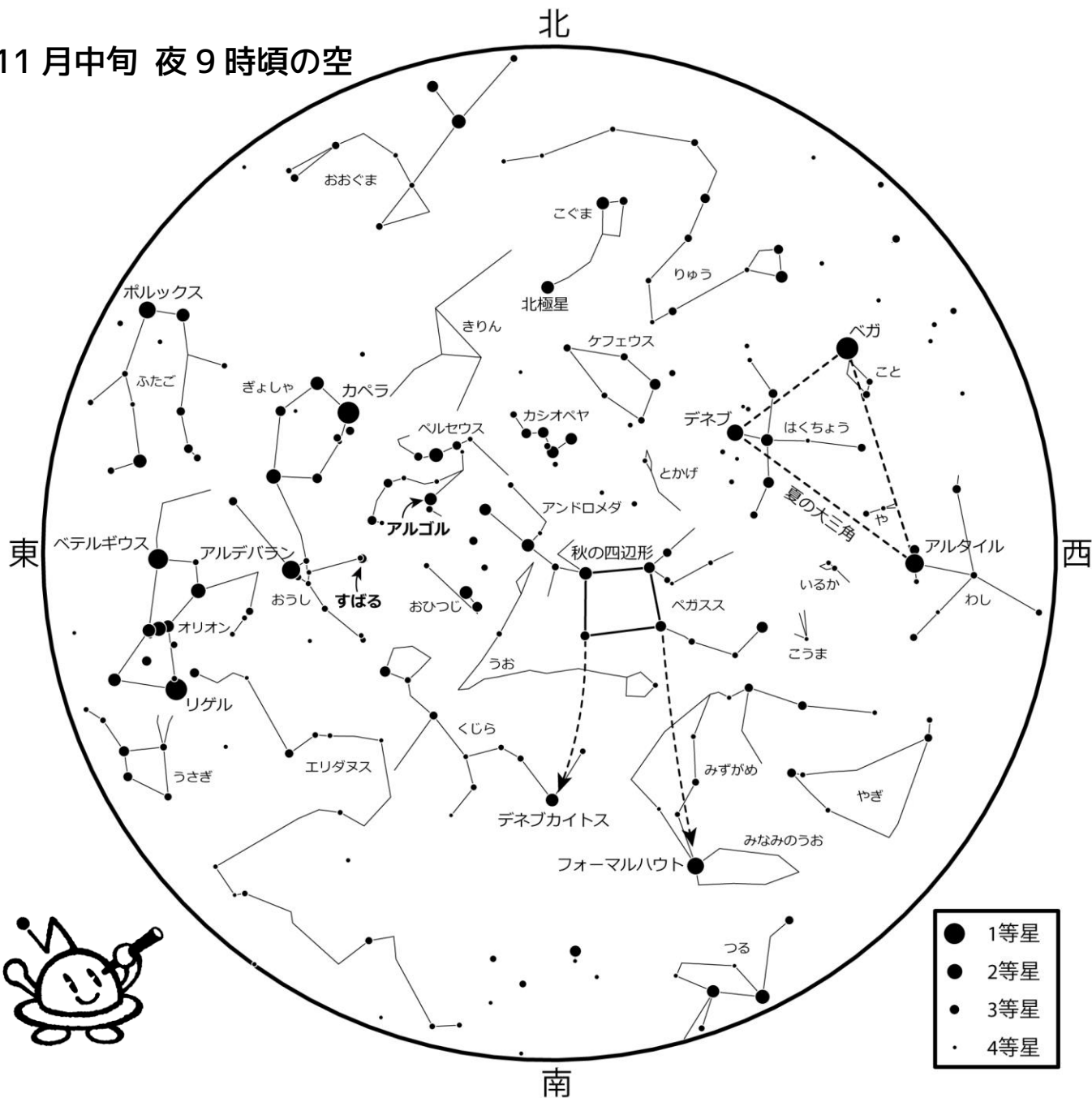


阿南市科学センター 11月の星空案内

11月中旬 夜9時頃の空



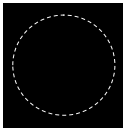



秋も深まる 11 月ごろには、**秋の四辺形**と呼ばれるペガサス座の胴体にあたる部分が空高く見えます。秋の四辺形を利用すれば、**フォーマルハウト** (みなみのおう座) や**デネブカイトス** (くじら座) と呼ばれる秋の星々を探ることができます。さらに秋の四辺形の周囲には、古代エチオピアが舞台の神話に登場する**カシオペヤ座**、**アンドロメダ座**、**ペルセウス座**を見つけることもできるでしょう。ちなみに、夏の大三角は西の空に傾きそろそろ見納めとなりますが、東の空からは**ぎょしゃ座**、**おうし座**、**オリオン座**、**ふたご座**など冬の星座たちが姿を現しはじめています。おうし座で輝く散開星団**すばる** (M45) もぜひ探してみてください。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵 8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名 称	満月	下弦の月	新月	上弦の月
形 状				
見える日	11月4日	11月11日	11月18日	11月27日

◇ 惑星について

名 称	水 星	金 星	火 星	木 星	土 星
見どころ	11月下旬ごろ、日没後に西のごく低空で見える。	明け方、東のごく低空で見える。 (明けの明星)	夜明け前、東の空で見える。	11月下旬ごろから、明け方東の低空で見える。	日没後、東の低空に見えるが、すぐに沈む。
明るさ	約0等	約-4等	約2等	約-1.5等	約0.5等

◇ おすすめの天体・天文現象

【活動銀河 M77】

くじら座で輝く M77 は、地球から約 4700 万光年の彼方にある銀河です。銀河は望遠鏡で見ると大変淡く見えるので、見慣れていないと写真で見ると感動は少ないかもしれません。しかし M77 は銀河の中心部分が他の銀河に比べてとても明るいので、その存在を望遠鏡で確かめやすい天体です。このような銀河は**活動銀河**と呼ばれ、中心領域は**活動銀河核 (AGN)**ともいいます。活動銀河核を持つ銀河は、銀河全体の 1 パーセントほどしか見つかっておらず、宇宙の中では特異な存在です。活動銀河核ではいったい何が起きているのか、その答えを求めて天文学者は現在も研究を続けています。



図 1: 活動銀河 M77
(2017/10/29 撮影)

【悪魔の星アルゴル】

ペルセウス座で輝く「悪魔」の異名を持つアルゴルは、明るさが変わる星（**変光星**）として有名な天体です。普段は 2.1 等という明るさですが、ときどき 3.4 等まで暗くなってしまいます。この星は二つの星が周りあう**連星**として知られ（軌道周期約 2.87 日）、一方の星がもう片方の星を隠す「**食 (しょく)**」という現象で明るさが変化します。ひとたび食が起こると約 5 時間かけて暗くなり、また 5 時間くらいかけて元の明るさに戻ります。



図 2: アルゴルの明るさの変化。右側は食で暗くなっている様子。

なお 2017 年内にアルゴルの食 (極小) が観察しやすいのは、11 月は 2 日 19:45 頃、20 日 00:40 頃、22 日 21:30 頃、25 日 18:15 頃、12 月は 10 日 02:20 頃、12 日 23:10 頃、15 日 20:00 頃になります。